

問 一般廃棄物処理、委託料に問題はなにか

横尾正文議員



答 内容を精査して修正を検討

現在の町のゴミの状況は、可燃ゴミは年間約1,000トン、資源ゴミは年間約400トンを再利用して円滑に処理できている。

環境衛生課長 平成20年度は、役員を含め職員が5名で年間約1,020人役である。

町長 環境衛生課長 詳細については把握していない。

町長 滞納は昨今の経済状況により増加傾向である。

住民課長補佐 延べ調査件数は5,046件、実際の差押え件数は18件で金額は約63万円である。

問 小学校の統合・町長の権限は

松本彰夫議員



答 建設が伴う場合は町長の判断も

三和地区の小学校統合については、町長の政策判断により、来見小学校の統合が延期された。小学校統合は、「学校再配置検討委員会」の答申を受け、教育委員会で決定された。

町長 関係があり町長の判断も必要である。

町長 結果として半年遅れた事はお詫びする。

町長 意しながら、退職者の数、支所機能の見直しなどを検討し、支障のないよう取り組む。

町長 11月末で滞納繰越金の徴収率が約26%だが、今年度末までの徴収率の予測は、40%が目標。



来見小学校

問 三和地区 統合小学校建設は

片山元八郎議員



答 政治判断で決定

来見小学校は統合せず、との町長による「政策判断」の理由は何か。

町長 二幸小・高蓋小・三和の三校で、平成23年4月、三和中の敷地内に、新小学校を開校する方針に変更はないか。

町長 保護者全員参加ではないが、過半数は「統合やむなし」と感じた。

町長 従来どおりの学区制を維持する。

町長 1月早々にオーナーをお呼びして説明する予定である。



三和地区統合小学校建設予定地

問 分収育林基金問題の顛末は

小林 貢議員



答 検討の余地がある

愛宕山分収育林基金問題について、新聞報道を事実と理解してよいか。

町長 全額取り崩す事は認められていない。

町長 基金条例を廃止した経緯を確認している。

町長 何れも好ましくないと思われているが「合併協の確認事項を尊重しながら検討し、基金は契約対象樹木の保育に必要な業務に充てるものなので、現地を確認し、今後の業務は草刈りなどであるとして基金を取り崩した」といわれている。

町長 1月早々にオーナーをお呼びして説明する予定である。



愛宕山分収育林